

橋本 昌男 事務局長

2024年12月中旬から2025年2月上旬までの財団の活動について報告します。

研修研究部門に関する報告

甲斐 龍也 研修研究部

1. 令和6年度救急医療業務実地修練等研修事業について

今年度も厚生労働省の委託事業として、8コースの研修を開催しました。12月から2月にかけては、3職種の合同研修(施設研修含む)を実施しました。

今年度の施設研修については、病院実習として実施することとされていましたが(昨年度までは、密を避けるためオンライン研修として実施)ので、全国各地の救急医療に取り組んでいる病院に施設研修実施の申し入れを行い、多くの病院(3職種合計35病院(重複含む))から受入可能とのことで、受講者の希望に即してマッチングを行い実施しました。

また、本3研修では、3職種合同研修を実施し、救急外来、初療室におけるチーム医療(講義、WS)についてグループディスカッションを行うなど、医師、看護師、救急救命士による活発な意見交換がなされ、大変有意義な合同研修となりました。

○医師救急医療業務実地修練

目的 本講習会は、救急医療に携わっている医師を対象とし、日常の救急診療能力の向上のみならず、地域救急医療の指導者となる医師の養成を目指すものである。救急医療においては、種々の検査や処置を整然と速やかに行い、救急疾患の病態を把握した合理的で無駄のない診療が重要である。このことから、本講習会では、単に個々の手技を習得するのではなく、これらの組み合わせによる最適な救急診療を、実地修練等を通じて伝達し、各地域における救急医療の指導者となるための知識等を習得することにより、救急医療における専門性の高い医師の確保に資することを目的とする。

対象者 二次・三次救急医療施設等に勤務し、救急医療の第一線で活動している者(日本救急医学会救急科専門医又はそれと同等の知識、技術を有する者)

①合同研修

研修期間 令和7年1月22日(水)～1月24日(金)3日間

研修方法 オンライン(Zoom)による研修

受講者数 24名(修了者数23名)

②施設研修

研修期間 令和7年2月13日(木)～2月14日(金)2日間

研修方法 各救命救急センターにて実習

研修施設 9病院

○看護師救急医療業務実地修練

目的 本講習会は、救急看護業務を行っている看護師を対象とし、日常の救急看護能力の向上を目指すとともに、救急外来等において、患者をトリアージできる知能・技能の習得を目的とする。

対象者 救命救急センター又はそれと同等の施設において、2年以上救急部門、集中治療室（ICU等）などで実務経験のある者

①合同研修

研修期間 令和7年1月20日（月）～1月24日（金）5日間

研修方法 オンライン（Zoom）による研修

受講者数 76名

②施設研修

研修期間 令和7年2月5日（水）～2月7日（金）3日間

令和7年2月17日（月）～2月19日（水）3日間

研修方法 各救命救急センターにて実習

研修施設 17病院

○医療機関に所属する救急救命士業務実地修練

目的 本講習会は、医療機関に所属する救急救命士を対象とし、令和3年に改正された救急救命士法の内容を熟知した上で、いわゆる救急外来において、法令に基づいて適切に救急救命処置を実施するために必要な、医療安全、感染対策、チーム医療等についての知識・技能の習得を目的とする。また、医療機関内で救急救命処置を行う救急救命士においては、行政機関、消防機関、医療機関など、多くの関係者に関する横断的な知識の習得が必要となることから、院内の体制のみならず、救急要請から医療機関収容に至るまでの救急医療提供体制についての知識も習得することを目的とする。さらに、医療機関内で救急医療を担う医師や看護師と合同講習を実施することによって、救急外来における救急救命処置の質の向上と関係者との連携強化を図る。

対象者 救急救命士免許を取得している者であって、医療機関において、現に救急救命士として救急業務に従事している者又はしようとしている者

①合同研修

研修期間 令和7年1月21日（火）～1月23日（木）3日間

研修方法 オンライン（Zoom）による研修

受講者数 40名

②施設研修

研修期間 令和7年1月30日（木）～1月31日（金）2日間

令和7年2月13日（木）～2月14日（金）2日間

研修方法 各救命救急センターにて実習

研修施設 9病院